2026年5月30日の電力需給

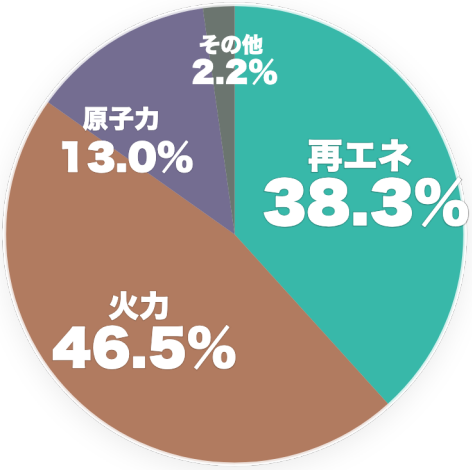
全国

△ 全国合計需要ピーク
8,913万kW
16時30分、89,128 MW（10エリア同時刻合計）

☀ 太陽光ピーク
5,228万kW
11時、52,275 MW（自家消費分除く）

≋ 風力ピーク
305万kW
4時30分、3,049 MW

◇ 再エネ最大需要比
71.8%
10時30分、需要に対する割合



↔ 最大受電エリア
東京
95.8 GWh

↔ 最大送電エリア
東北
65.3 GWh

概況

再エネ比率トップ

北海道 61.5%

44.7 GWh

出力制御量

65.1 GWh

最大: 東北 21.6 GWh

揚水・蓄電の充電

91.7 GWh

発電構成比には含めない

日中の特徴

太陽光と夕方需要の時間差

多くのエリアで18-19時台に需要ピーク

- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、13:00に2,938万kWでした。
- 再エネ比率は北海道が最も高く、発電電力量ベースで61.5%でした。
- 出力制御は北海道、東北、中部、北陸、関西、中国、四国、九州。

項目	値	補足
再エネ発電量比率	**38.3%**	発電電力量ベース
再エネ発電量	**767 GWh**	太陽光・水力・風力・バイオマス・地熱
総発電電力量	**2,002 GWh**	発電構成比の分母
再エネ最大需要比	**71.8%**	10時30分
出力制御量	**65.1 GWh**	最大: 東北
揚水・蓄電の充電	**91.7 GWh**	発電構成比には含めない

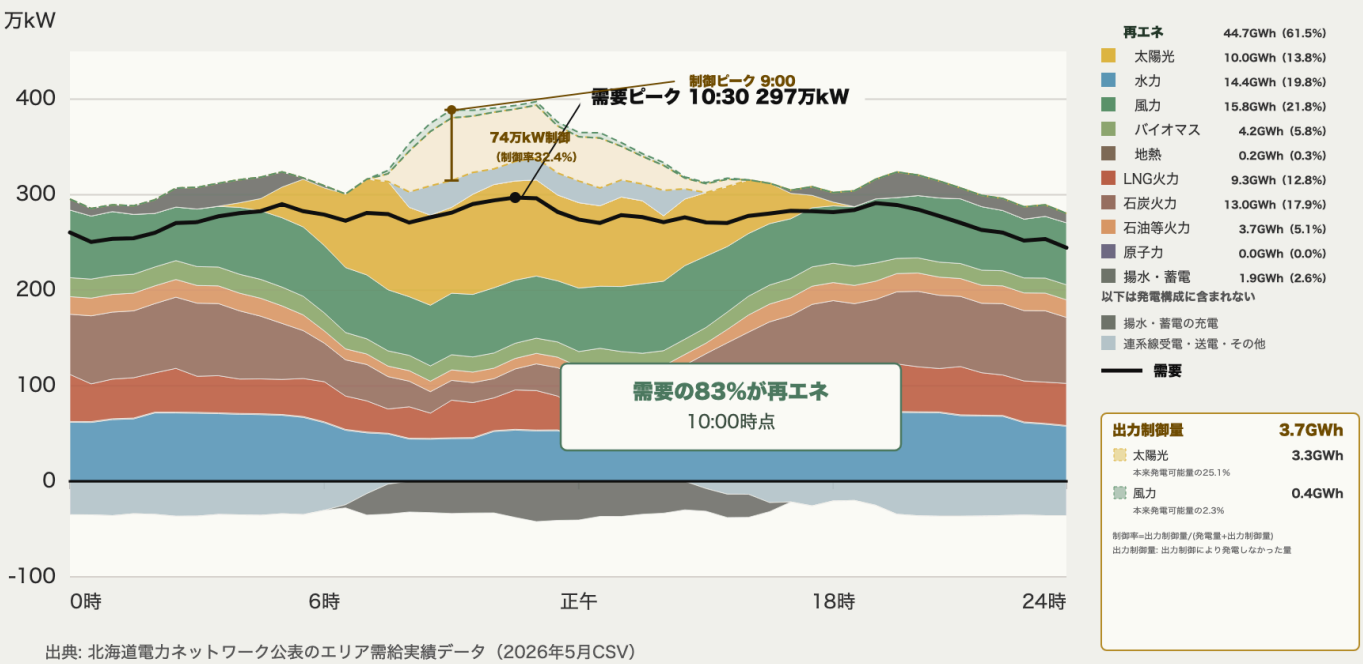
エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力制御 (GWh)	連系線・その他 (GWh)
北海道	**61.5%**	**44.7**	**3.7**	**送電 3.5**
東北	**54.3%**	**133**	**21.6**	**送電 65.3**
東京	**31.2%**	**174**	**0.0**	**受電 95.8**
中部	**44.8%**	**123**	**0.0**	**受電 19.2**
北陸	**47.4%**	**35.9**	**0.2**	**送電 17.5**
関西	**30.4%**	**81.4**	**5.3**	**受電 50.1**
中国	**39.0%**	**53.5**	**11.6**	**受電 4.5**
四国	**34.9%**	**32.2**	**1.3**	**送電 31.1**
九州	**33.5%**	**85.5**	**21.4**	**送電 34.2**
沖縄	**15.9%**	**3.8**	**0.0**	—

2026年5月30日の供給実績

北海道エリア

再エネ
44.7GWh
（発電電力量ベース61.5%）

北海道エリア 2026年5月30日の供給実績



出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年5月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力制御量を含まない。

総発電電力量
72.6GWh

需要ピーク
10:30、297万kW

連系線・その他
4.9GWhの送電

揚水・蓄電の充電
3.2GWh

出力制御
3.7GWh

概況

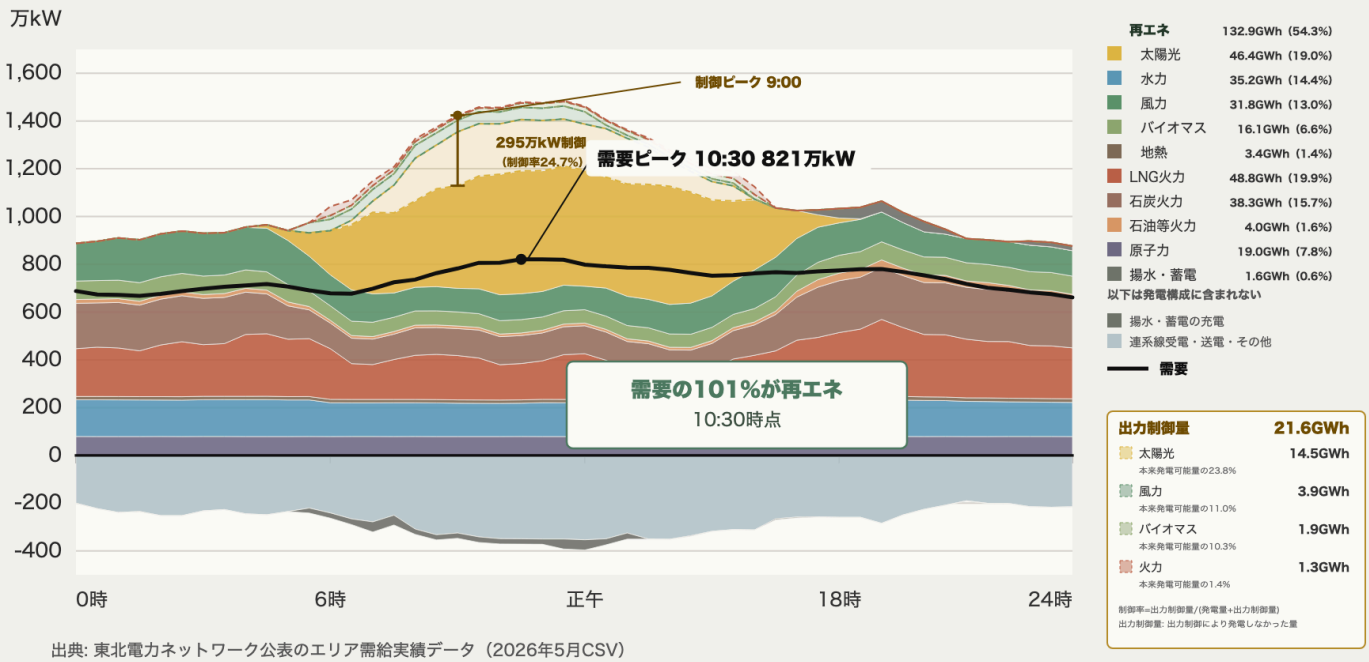
北海道は、太陽光ピーク113万kW、風力ピーク77万kWで、時間別の再エネ最大需要比は87.1%だった。

2026年5月30日の供給実績

東北エリア

再エネ
132.9GWh
（発電電力量ベース54.3%）

東北エリア 2026年5月30日の供給実績



出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年5月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力制御量を含まない。

総発電電力量
244.6GWh

需要ピーク
10:30、821万kW

連系線・その他
65.3GWhの送電

揚水・蓄電の充電
2.2GWh

出力制御
21.6GWh

概況

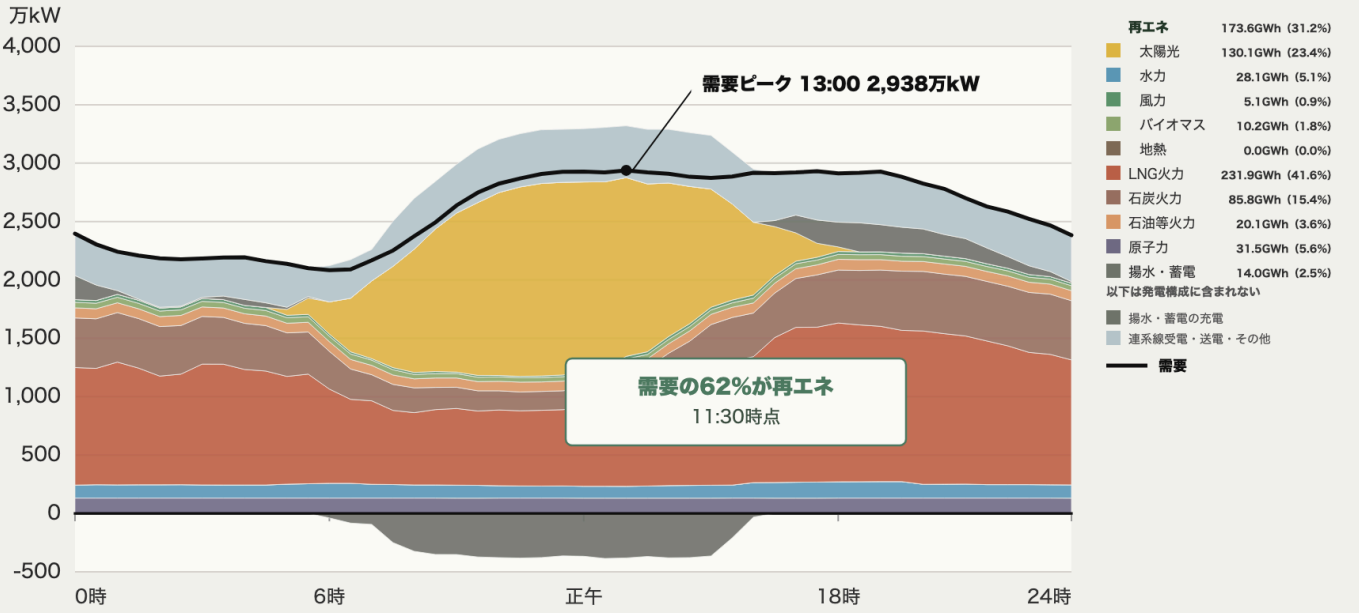
東北は、太陽光ピーク515万kW、風力ピーク184万kWで、時間別の再エネ最大需要比は106.8%だった。

2026年5月30日の供給実績

東京エリア

再エネ
173.6GWh
（発電電力量ベース31.2%）

東京エリア 2026年5月30日の供給実績



出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年5月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力制御量を含まない。

総発電電力量
557.0GWh

需要ピーク
13:00、2,938万kW

連系線・その他
95.8GWhの受電

揚水・蓄電の充電
31.1GWh

出力制御
0.0GWh

概況

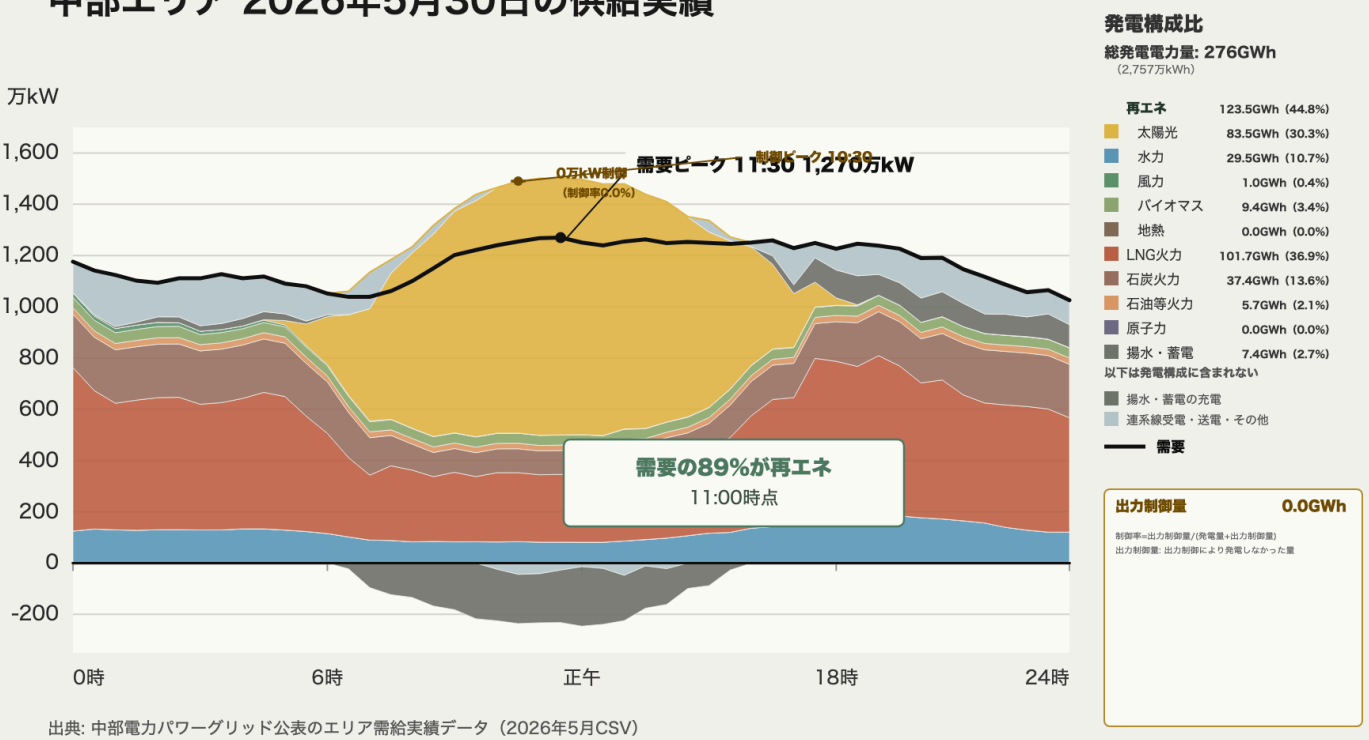
東京は、太陽光ピーク1,650万kW、風力ピーク27万kWで、時間別の再エネ最大需要比は62.0%だった。

2026年5月30日の供給実績

中部エリア

再エネ
123.5GWh
（発電電力量ベース44.8%）

中部エリア 2026年5月30日の供給実績



出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年5月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力制御量を含まない。

総発電電力量
275.7GWh

需要ピーク
11:30、1,270万kW

連系線・その他
20.4GWhの受電

揚水・蓄電の充電
14.4GWh

出力制御
0.0GWh

概況

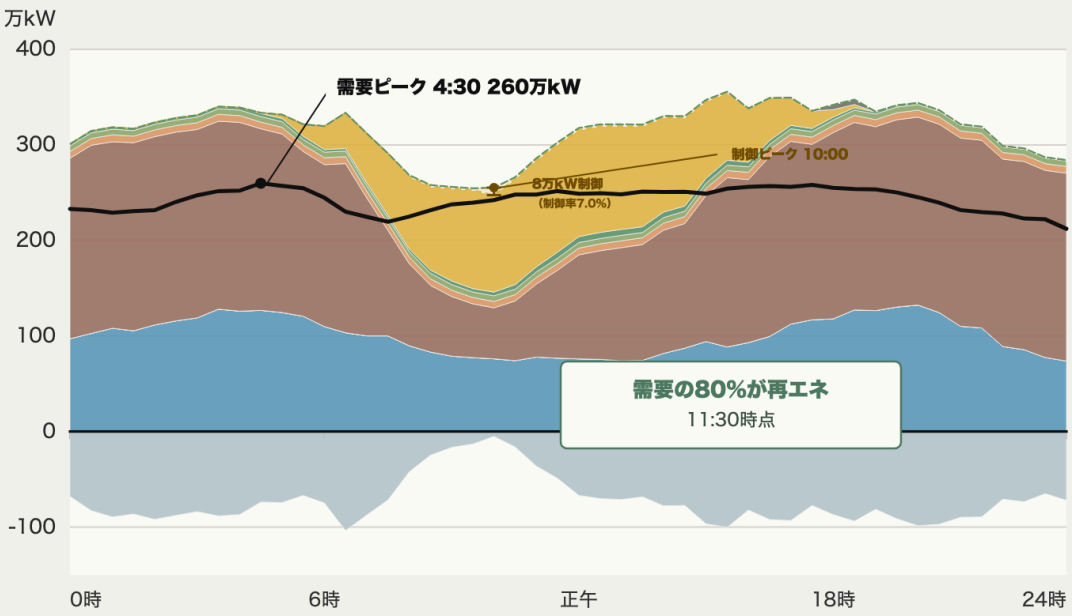
中部は、太陽光ピーク1,002万kW、風力ピーク17万kWで、時間別の再エネ最大需要比は89.3%だった。

2026年5月30日の供給実績

北陸エリア

再エネ
35.9GWh
（発電電力量ベース47.4%）

北陸エリア 2026年5月30日の供給実績





出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年5月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力制御量を含まない。

総発電電力量
75.7GWh

需要ピーク
4:30、260万kW

連系線・その他
17.5GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力制御
0.2GWh

概況

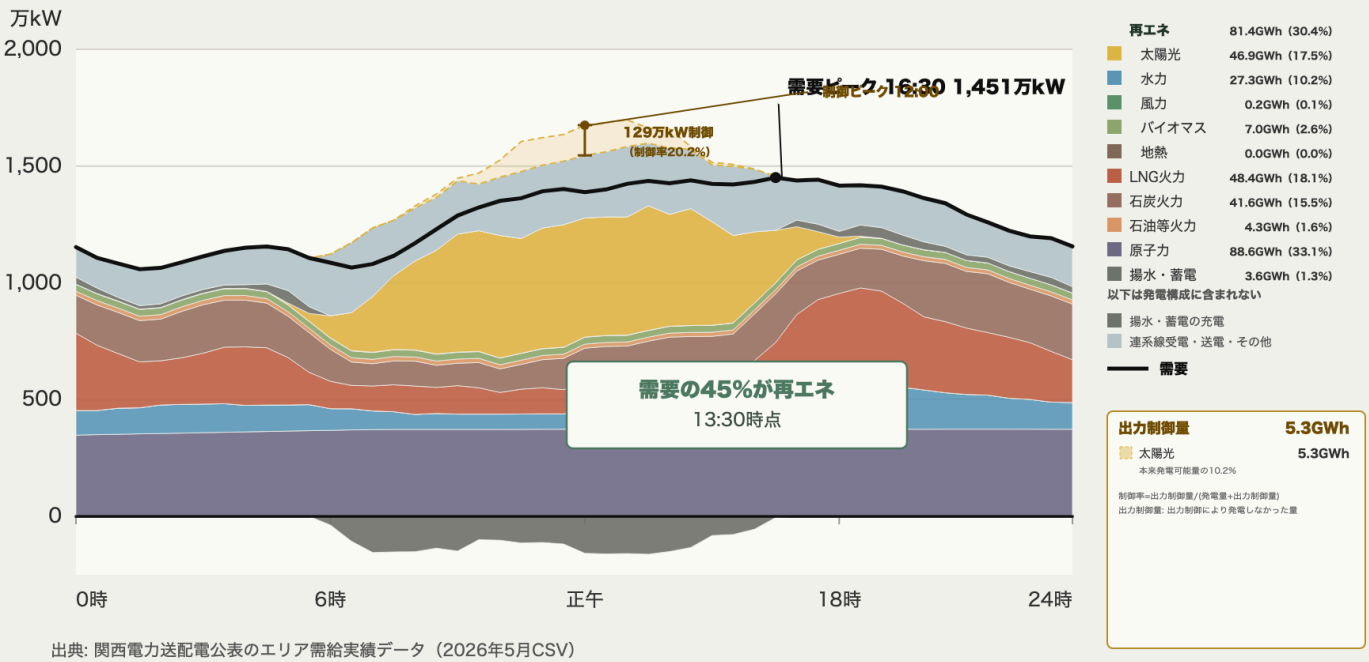
北陸は、太陽光ピーク113万kW、風力ピーク6万kWで、時間別の再エネ最大需要比は80.9%だった。

2026年5月30日の供給実績

関西エリア

再エネ
81.4GWh
（発電電力量ベース30.4%）

関西エリア 2026年5月30日の供給実績



出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年5月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力制御量を含まない。

総発電電力量
267.9GWh

需要ピーク
16:30、1,451万kW

連系線・その他
50.1GWhの受電

揚水・蓄電の充電
12.8GWh

出力制御
5.3GWh

概況

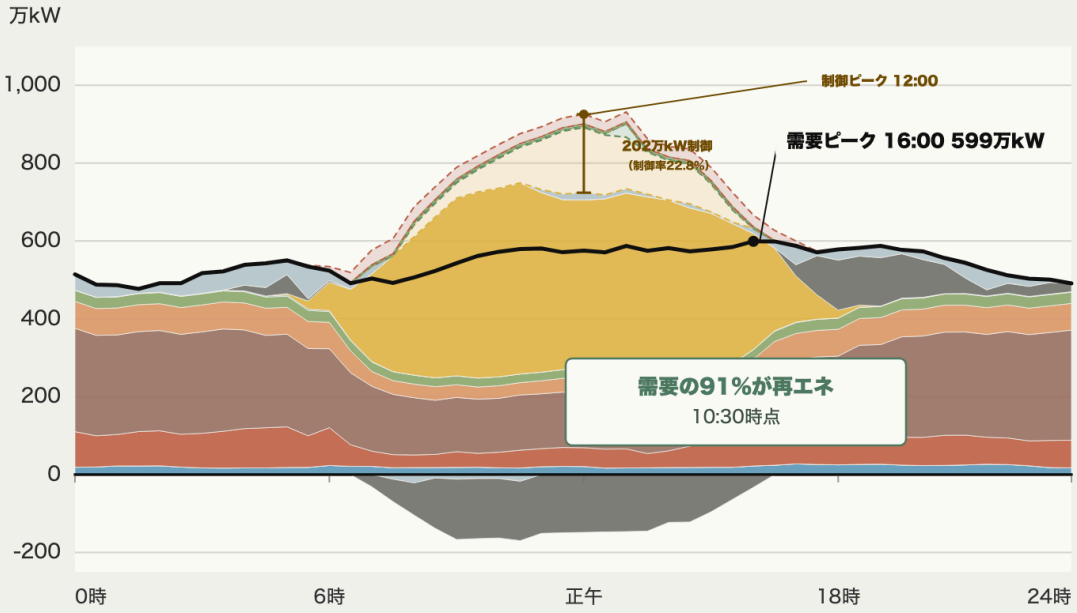
関西は、太陽光ピーク533万kW、風力ピーク2万kWで、時間別の再エネ最大需要比は46.7%だった。

2026年5月30日の供給実績

中国エリア

再エネ
53.5GWh
（発電電力量ベース39.0%）

中国エリア 2026年5月30日の供給実績



発電構成比
総発電電力量: 137GWh
（1,372万kWh）

再エネ	53.5GWh (39.0%)
太陽光	42.1GWh (30.7%)
水力	4.9GWh (3.6%)
風力	0.2GWh (0.2%)
バイオマス	6.3GWh (4.6%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	16.0GWh (11.6%)
石炭火力	49.1GWh (35.8%)
石油等火力	13.4GWh (9.7%)
原子力	0.0GWh (0.0%)
揚水・蓄電	5.2GWh (3.8%)

以下は発電構成に含まれない
揚水・蓄電の充電
連系線受電・送電・その他
需要

出力制御量 11.6GWh

太陽光	7.5GWh
本来発電可能量の15.0%	
風力	0.4GWh
本来発電可能量の67.0%	
バイオマス	0.5GWh
本来発電可能量の7.4%	
火力	3.2GWh
本来発電可能量の4.0%	

制御率=出力制御量/(発電量+出力制御量)
出力制御量: 出力制御により発電しなかった量

出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年5月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力制御量を含まない。

総発電電力量
137.2GWh

需要ピーク
16:00、599万kW

連系線・その他
5.0GWhの受電

揚水・蓄電の充電
11.2GWh

出力制御
11.6GWh

概況

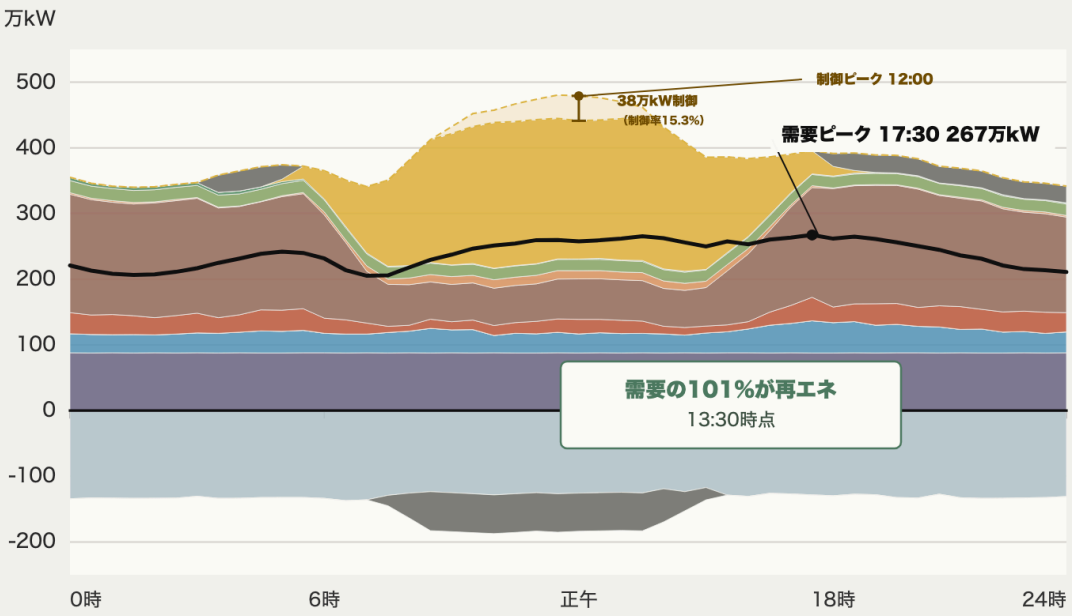
中国は、太陽光ピーク491万kW、風力ピーク3万kWで、時間別の再エネ最大需要比は92.5%だった。

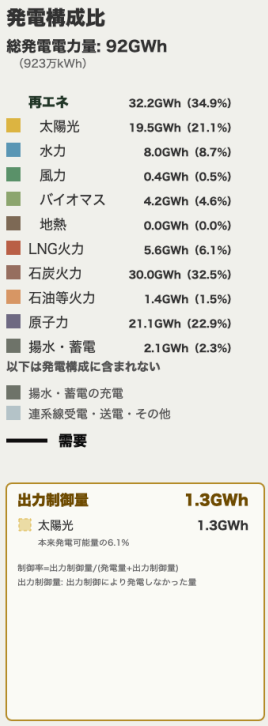
2026年5月30日の供給実績

四国エリア

再エネ
32.2GWh
（発電電力量ベース34.9%）

四国エリア 2026年5月30日の供給実績





出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年5月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力制御量を含まない。

総発電電力量
92.3GWh

需要ピーク
17:30、267万kW

連系線・その他
31.1GWhの送電

揚水・蓄電の充電
4.0GWh

出力制御
1.3GWh

概況

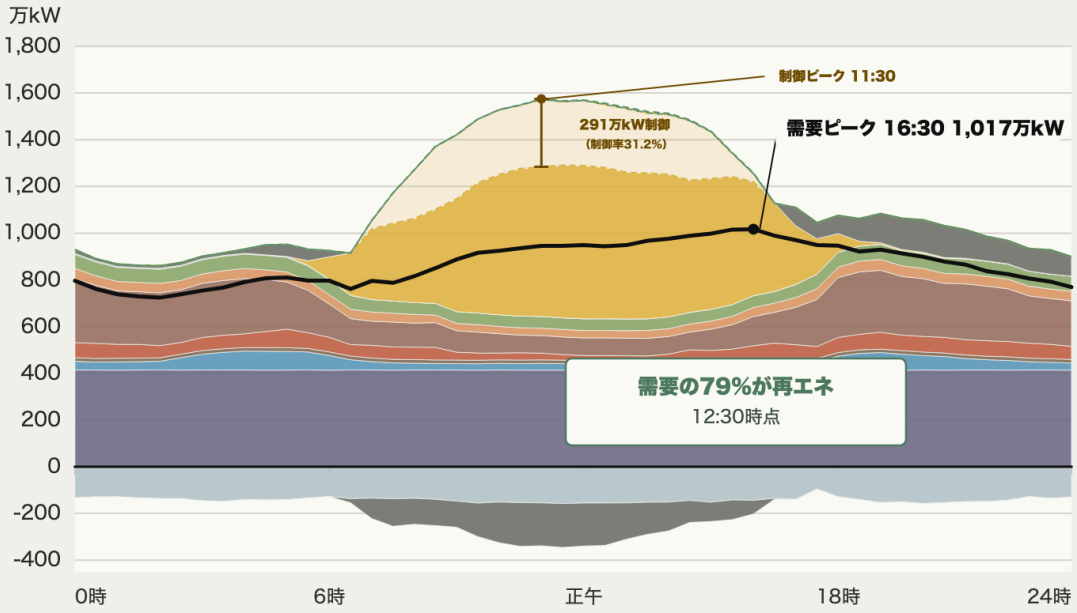
四国は、太陽光ピーク222万kW、風力ピーク5万kWで、時間別の再エネ最大需要比は106.4%だった。

2026年5月30日の供給実績

九州エリア

再エネ
85.5GWh
（発電電力量ベース33.5%）

九州エリア 2026年5月30日の供給実績



発電構成比
総発電電力量: 255GWh
（2,552万kWh）

再エネ	85.5GWh (33.5%)
太陽光	57.4GWh (22.5%)
水力	10.4GWh (4.1%)
風力	0.3GWh (0.1%)
バイオマス	13.7GWh (5.4%)
地熱	3.6GWh (1.4%)
LNG火力	12.5GWh (4.9%)
石炭火力	39.9GWh (15.6%)
石油等火力	9.3GWh (3.7%)
原子力	99.3GWh (38.9%)
揚水・蓄電	8.7GWh (3.4%)

以下は発電構成に含まれない
揚水・蓄電の充電
連系線受電・送電・その他
需要

出力制御量 21.4GWh
太陽光 21.1GWh
本来発電可能量の26.9%
風力 0.3GWh
本来発電可能量の45.7%

制御率=出力制御量/(発電量+出力制御量)
出力制御量: 出力制御により発電しなかった量

出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年5月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力制御量を含まない。

総発電電力量
255.2GWh

需要ピーク
16:30、1,017万kW

連系線・その他
34.1GWhの送電

揚水・蓄電の充電
12.7GWh

出力制御
21.4GWh

概況

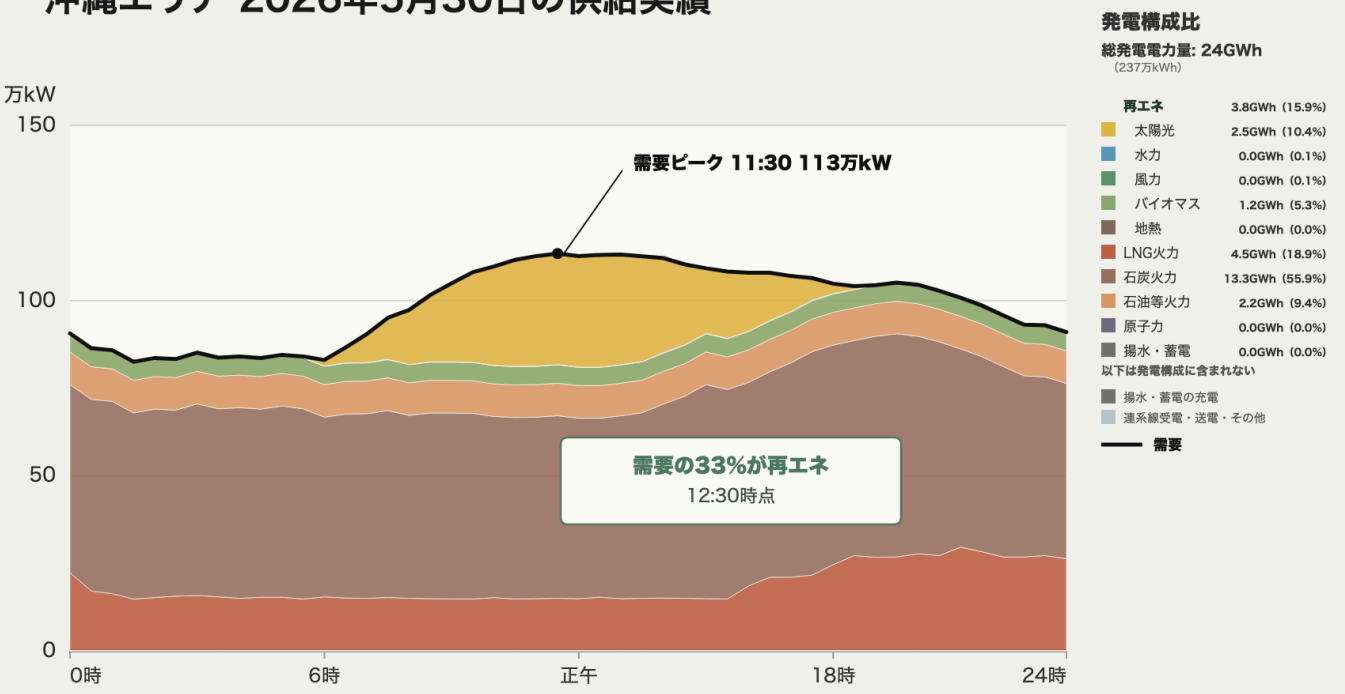
九州は、太陽光ピーク655万kW、風力ピーク5万kWで、時間別の再エネ最大需要比は78.9%だった。

2026年5月30日の供給実績

沖縄エリア

再エネ
3.8GWh
（発電電力量ベース15.9%）

沖縄エリア 2026年5月30日の供給実績



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ（2026年5月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力制御量を含まない。

総発電電力量
23.8GWh

需要ピーク
11:30、113万kW

連系線・その他
0.0GWh

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力制御
0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク32万kW、風力ピーク0万kWで、時間別の再エネ最大需要比は33.1%だった。